

整理番号	42-18	事務事業名	高等学校等入学準備金支給事業		作成部署	教育委員会 管理部管理課	電話	内線887
事務区分	自治事務	法定受託事務	部長職名	鈴木 正広	課長職名	青山 章二	作成日	平成17年6月
事務事業開始年度	昭和53年	根拠法令等	北広島市高等学校等入学準備金支給規則					
" 終了予定年度								
事務事業開始のきっかけ(導入当初の目的等)	経済的な理由によって就学が困難な世帯の学生及び生徒が高等学校等に入学した場合、入学準備金を支給し、有用な人材を育成する。							

1 計画(プラン)

上位施策との関連(総合計画での位置付け)	章	豊かな心と個性ある文化を育むまち	(第4章)
	節	学校教育	(第2節)
	施策	高等学校教育等の振興	(第7施策)
目的(ここから成果指標を導きます)	対象(誰、又は何を)	経済的な理由によって就学が困難な世帯で、高等学校等に入学する学生及び生徒	
	意図(何をねらっているのか、対象をどのような状態にしたいのか)	高等学校等入学時に入学準備金を支給し、保護者の経済的負担の軽減を図る。	
手段(ここから活動指標を導きます)	市が行った(行う)事務事業の具体的な実施内容(補助金等の場合は団体等の活動内容)	16年度まで	市内に住所を有し、市立中学校を卒業、高等学校等へ入学し、以下のいずれかの基準に該当する学生及び生徒に20,000円を支給。 (1)就学援助の対象世帯で、国、公、私立高等学校に入学した生徒 (2)市民税非課税世帯で私立高等学校等に入学した学生又は生徒 (3)市民税の均等割のみ課税世帯で、私立高等学校
		17年度	同上

2 実施(ドウ)

【事業費の推移】

(単位:千円)

区 分		15年度(決算)	16年度(決算)	17年度(予算)	18年度(予定)
直接事業費	国支出金				
	道支出金				
	地方債				
	その他特財				
	一般財源	1,520	1,600	1,800	1,800
	合計	1,520	1,600	1,800	1,800
人件費(概算)	人数(年間)	0.05	0.05	0.05	0.05
	1人当り年間平均人件費	9,000	9,000	9,000	9,000
	= ×	450	450	450	450
総事業費 +		1,970	2,050	2,250	2,250

【事務事業を評価する指標(ものさし)】

指 標	指 標(算式)	指 標 値			
		15年度	16年度	17年度(目標)	18年度(目標)
活動指標 (事務事業の活動量や実績)	入学準備金支給人数(人)	76	80	90	90
成果指標 (目的の達成度を測るものさし)	入学準備金支給人数(人) (代替指標)	76	80	90	90
効率指標 (主要活動単位当たりコスト)	受給者1人あたりのコスト(円) (総事業費 ÷ 支給人数)	25,921	25,625	25,000	25,000

3 評価(チェック)と改善(アクション)

事務事業を取り巻く社会環境の変化や今後の予測・他市町村の動向等	経済的な理由によって就学が困難な世帯の学生及び生徒の割合が増加しており、対象者の増加が予測される。
---------------------------------	---------------------------------------------------

【妥当性の評価と改善の方法等】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
行政関与の妥当性 【市が実施すべき事務事業ですか。市民・企業等での実施可能性はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	経済的に就学が困難な学生、生徒に対する援助であり、行政関与は適切であると考えます。	
目的の妥当性 【社会経済情勢や市民ニーズの変化などから、設定した対象や意図は妥当ですか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	経済情勢の悪化から対象者が増加傾向にあり、必要性は高い。	
手段の妥当性 【現在の手段は適切ですか。他の手段や委託化などの可能性はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	所得など一定基準を設けたうえで審査、支給しているため公平であり、妥当であると考えます。	
受益者負担の妥当性 【受益者負担の適正化の余地はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入) 該当しない		

【有効性と効率性の評価と改善の方法】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
有効性の評価 【意図した成果は上がっていますか】	十分成果が上がっている 概ね成果が上がっている あまり成果が上がっていない 成果が上がっていない	受給者にとって、就学に係る経費の負担軽減になっており、概ね成果が上がっているものと思われる。	
効率性の評価 【手法は効率的ですか。コスト削減の方法はありませんか】	十分効率的 概ね効率的 やや非効率 かなり非効率	一定基準を設定し、申請に基づき審査、支給しているため事務の簡素化が図られており、十分効率的と考える。	

【事務事業担当部局内優先度】

部局で所管するすべての事務事業の中で、この事務事業の位置づけはどの程度ですか

A B C

4 総合判定と今後の方向性

【1次評価】	判定	今後の方向性や改善方法など
事務事業担当部局の総合判定 【上記3の評価と改善を踏まえ、今後の方向性についての総合判定と改善方法等を記入】	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	経済情勢の悪化から対象者が増加傾向にあり、今後も継続が必要と思われる。
【2次評価】	判定	今後の方向性等
行財政構造改革推進本部の総合判定	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	現在の一律2万円支給の方法は、事業効果が薄いと思われる。今後、貸付制度を含めて事業内容の見直しを検討していく。